XEAM
ELECTRIC MOBILITY

SUPER SOCO

TCmax

- ティーシー マックス -

取扱説明書

Ver.04
2022 年 10 月発行

ユーザーインストラクション

ようこそ！ SUPER SOCOの世界へ
TC MAXを正しく安全に使用する為、機能や取扱いをご紹介します。
安全を確保するため、乗る前にこのマニュアルを注意深く読み、以下の要件を順守確認してください。

❶ このマニュアルの情報を完全に理解してください。これらは関連する手順、注意事項、警告を含みます。

❷ TC MAXの操作とトラブルシューティングを完全に理解してください。

❸ TC MAXに貼り付けられた警告ラベル内容に十分注意してください。

❹ 許可なしに車両と部品を分解しないでください。

部品交換が必要な場合や部品を購入する場合は、MSソリューションズ問合せ先か販売店に連絡してください。

❺ このマニュアルは適切に保管してください。

警告

本製品は製造時に国の基準に則って生産されており、当社は購入後の電気回路、ワイヤハーネス、最大速度などの変更について責任を負いません。
このバイクについて質問がある場合は、MSソリューションズにお問い合わせください。
安全で快適なライディング体験をお祈りします！

セーフティーインストラクション

あなたとあなた以外の安全を確保するために、次の事項を必ず守ってください。

❶ 該当免許を所持しない人に車両を貸さないでください。

❷ 走行車線を守って運転してください。法定速度を守って運転してください。

❸ 運転に影響を与える可能性のある薬物を服用した後や、アルコールを飲んだり、肉体的に気分が悪いときは乗らないでください。

❹ 法律や交通規制、交通標識を順守し、周囲の状況を常に確認し、危険を積極的に回避してください。

❺ 雨や雪の場合は、制動距離が長くなります。速度を落としてください。悪天候の状態ではできるだけ運転しないようにしてください。

❻ ヘルメットなどの安全装備と、必要に応じて手袋やブーツなどの適切な保護具を着用してください。

❼ あなたとあなた以外の安全を確保するために、適切にライトを使用してください。ハイビームを継続して使用すると、対向車線側の車両や歩行者に視覚障害を引き起こし、安全な運転に影響を与えます。

❽ 乗車後はすぐに電源を切り、キーを抜いてください。あなたの家族と財産の損失を避ける為に子供が近づかない様にしてください。

❾ 毎回乗車前点検を行い、部品に緩みや異音がないか確認し、定期的に販売店にメンテナンスを依頼してください。

❿ 乗車前に確認し、異常があった場合は修理の為、販売店にご相談ください。

a. 電源及びライト類
b. 前後のブレーキが適切に作動するか
c. ハンドル、前後輪のガタの有無
d. タイヤの空気圧
e. ベルトの緩み、損傷の有無
f. ベルトホイール損傷の有無
g. ベルト、ベルトホイールの歯及び溝の損傷の有無

- 01 -

同梱品の確認

×2

リモート
コントロールユニット

×1

バックミラーR/L

×1

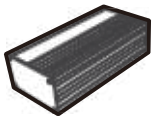
ユーザーマニュアル

×2

キー

×1

スパナ

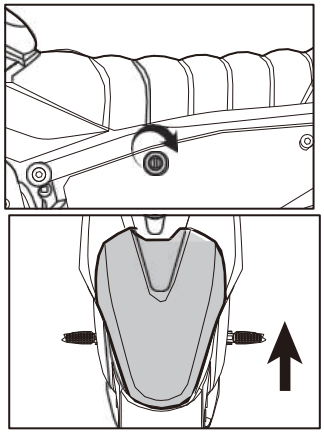


×1

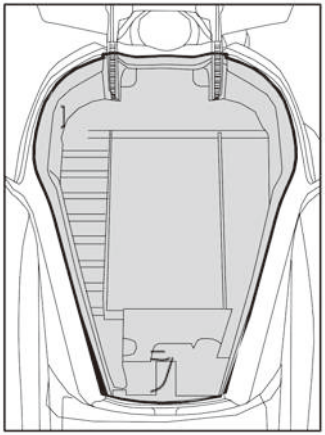
充電器

- 02 -

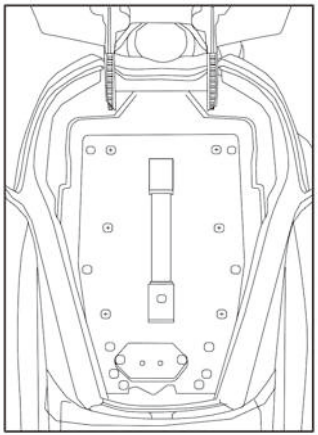
バッテリーの取り付け



❶キーを右に回してストレージカバーを開けます。



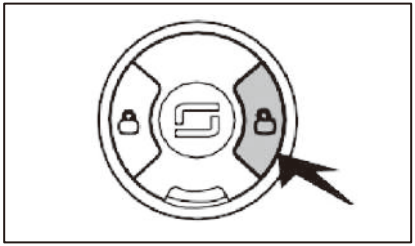
❷インナーカバーを取り出します。



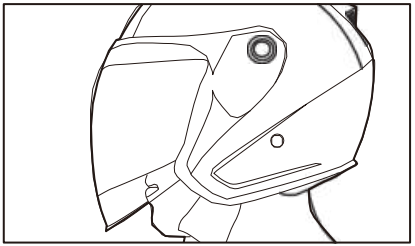
❸サーキットブレーカーがOFFになっている事を確認します。バッテリーを挿入します(底部がロックされます)。走行用バッテリーケーブル(オレンジ)を接続します。インナーカバーを元に戻しカバーを閉めます。

- 03 -

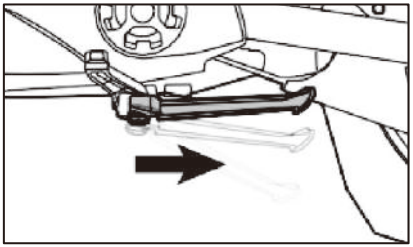
走行手順



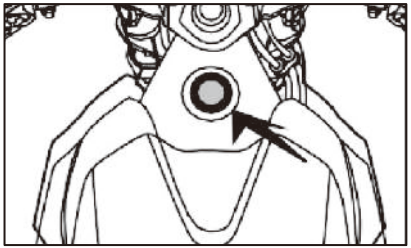
❶リモコンの “セキュリティーOFF” を押すと車両の “POWER” ボタンが点灯します。



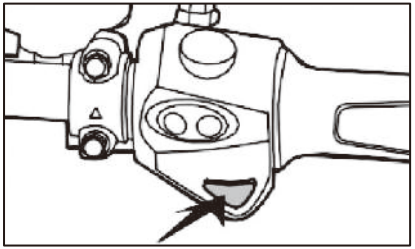
❷ヘルメットを被ります。



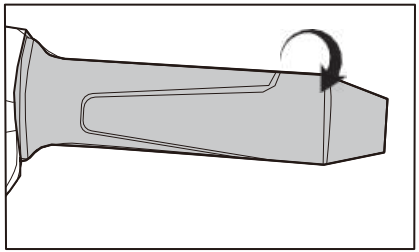
❸車両を起し、サイドスタンドを払って跨ります。



❹ “POWER” ボタンを押します。



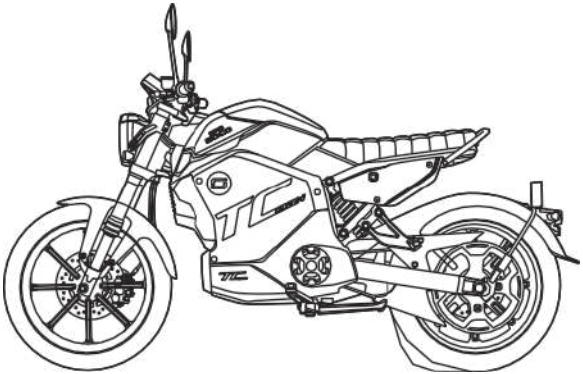
❺メーター内の表示が “P” マークのままの場合、“パーキング” ボタンを押して解除します。



❻アクセルをゆっくり回すと走行を開始します。

目次

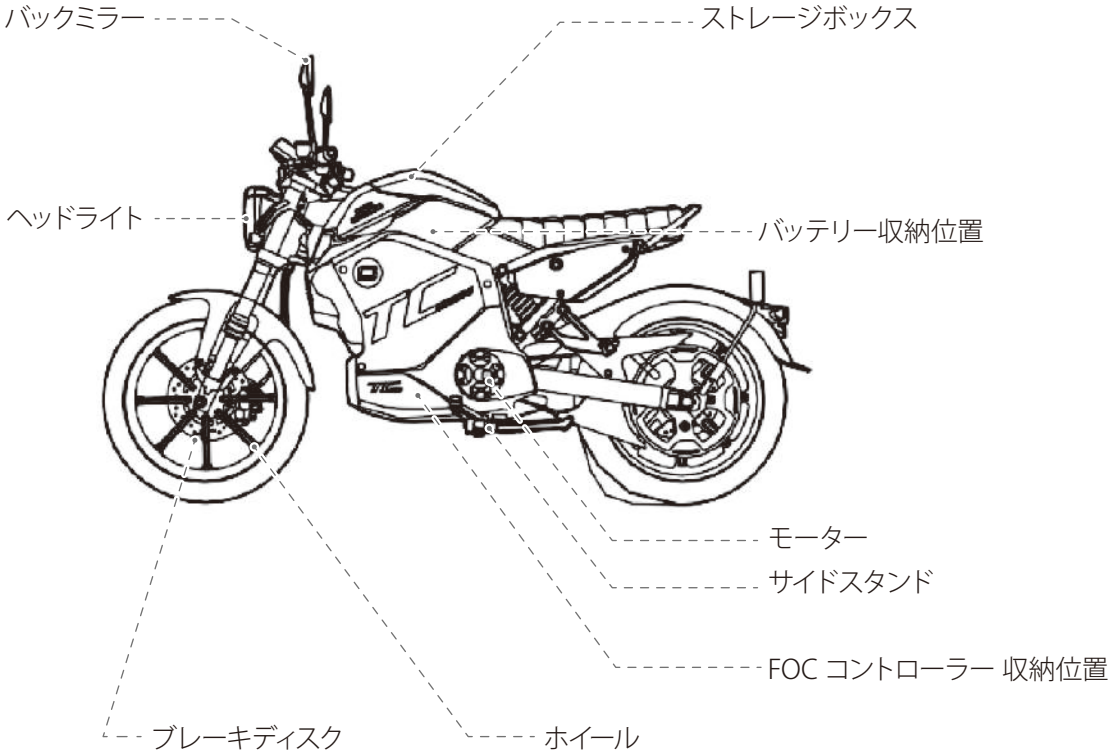
コンポーネントとパーツの説明 ―――― 08
操作ガイド ―――― 11
走行に関する項目 ―――― 16
バッテリーに関する注意事項 ―――― 19
メンテナンス ―――― 22
FAQ & トラブルシューティング ―――― 23



コンポーネントとパーツの説明

説明図(キャストホイール仕様)

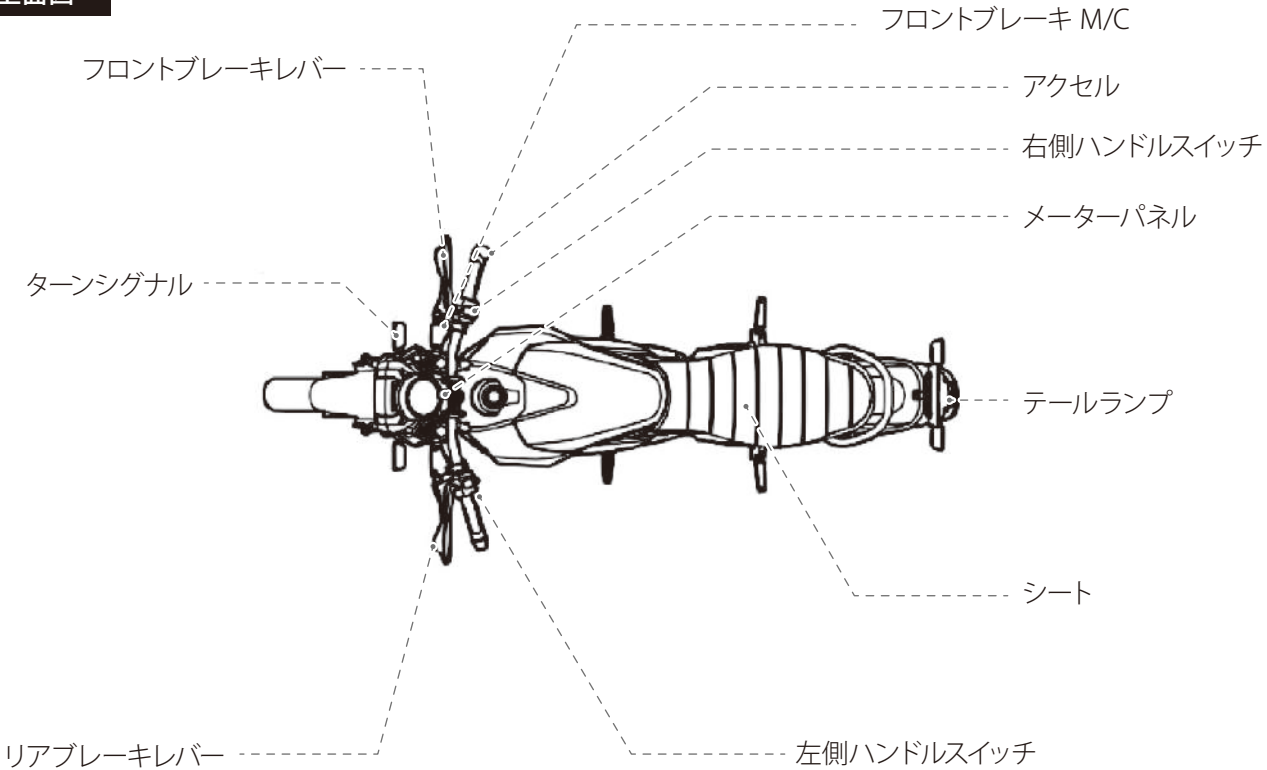
側面図



コンポーネントとパーツの説明

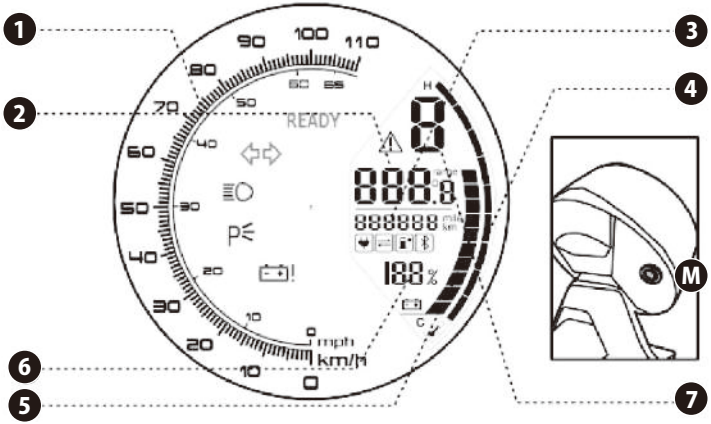
説明図(キャストホイール仕様)

上面図



コンポーネントとパーツの説明

スピードメーター内表示



❶ 速度表示

❷ 走行可能距離 &外気温表示
※Mボタンで表示切替可

❸ 総走行距離
※Mボタンで表示切替可

❹ コントローラー温度表示
C(低温)→H(高温)となり、最大表示以下で使用下さい。

❺ バッテリー残量表示バー

❻ バッテリー残量表示(%)

Ⓜ Mボタン操作説明

電源ON後にMボタンを操作すると下記の様に変更できます。

・走行可能距離/外気温<左図②>
Mボタンを押す毎に表示が切り替わります。
※走行可能距離は走行モードを切り替えると距離も変動します。

・スピードメーターのバックライト
Mボタンを3秒以上押すとメーターのバックライトが点灯します。

・km/mile<左図③>
Mボタンを8秒以上押すとkm→mile表示に切り替わります。
Km表示に戻すには再びMボタンを8秒以上押します。

●表示内容は記憶され、次回電源ONの際、同じ表示となります。

❼ 走行モード表示

スポーツ　ノーマル　エコ

その他のメーター内表示

充電中　READY バイク搭乗準備完了

ハイビーム時点灯

ターンシグナル作動時点滅

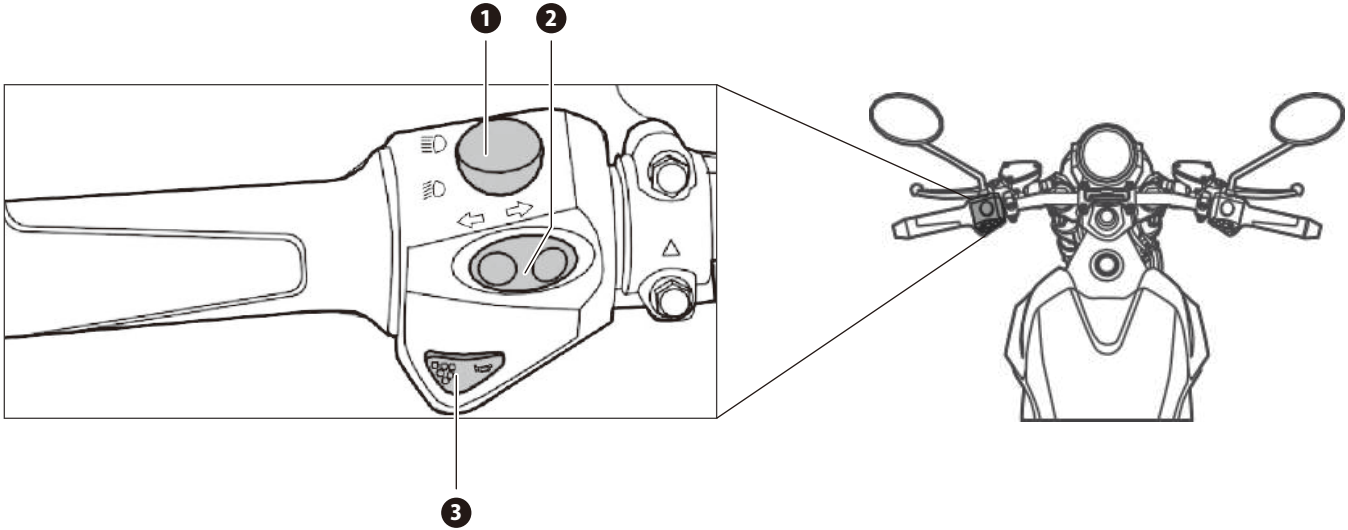
車両に異常発生時点灯

バッテリーエラー発生時点灯

・サイドスタンド未収納時点灯
・パーキングスイッチ作動時点灯

操作ガイド

左側ハンドルスイッチ



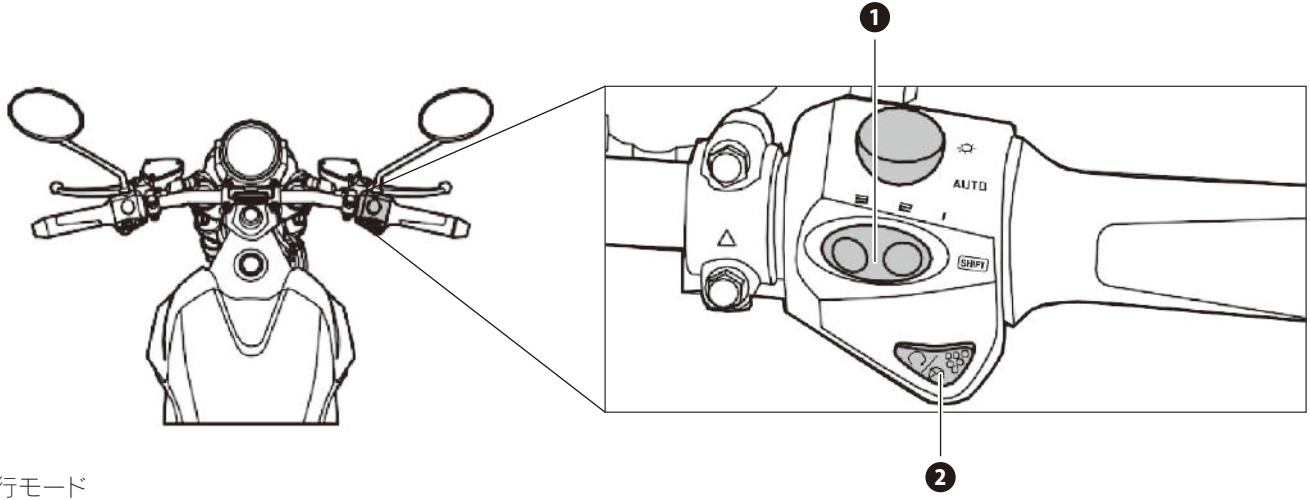
❶ ハイビーム / ロービーム切替スイッチ
上へ押すとハイビーム、下へ押すとロービームに切り替わります。

❷ ターンシグナルスイッチ
左へ操作すると左側、右へ操作すると右側ターンシグナルが点灯します。
消灯する場合は中央に戻します。

❸ ホーンボタン
押すとホーンが鳴ります。

操作ガイド

右側ハンドルスイッチ



❶ 走行モード

1：エコ / 2：ノーマル / 3：スポーツ

最高速と消費電力の大きさは、1<2<3となります。

※モード変更は、停止時かそれぞれのモードで出せる速度以下になってから操作してください。
　スピードが高いまま操作すると、車両の破損もしくは転倒など重大な事故に繋がる可能性があります。

❷ パーキングスイッチ

押すとメーター内に“P”マークが点灯し、パーキングモードとなります。

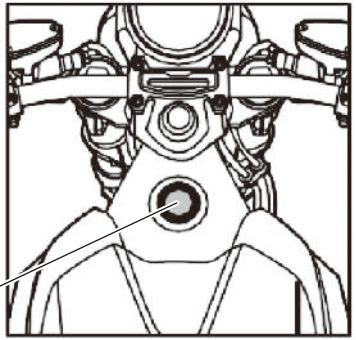
さらにもう一度押すと”P”マークが消灯し”READY"ランプが点灯し走行可能になります。

操作ガイド

リモートコントロールユニット
車両から半径50m以内(条件により異なる)でセキュリテイのロック(作動)/アンロック(解除)が可能です。

ロックボタン
押すとセキュリティが作動します

スタンバイ
バッテリー接続された状態で押すと、「POWER」ボタンが点灯し、スタンバイ状態となります。
その後、ストレージカバー前方にある「POWER」ボタンを押すと電源が ON になります。



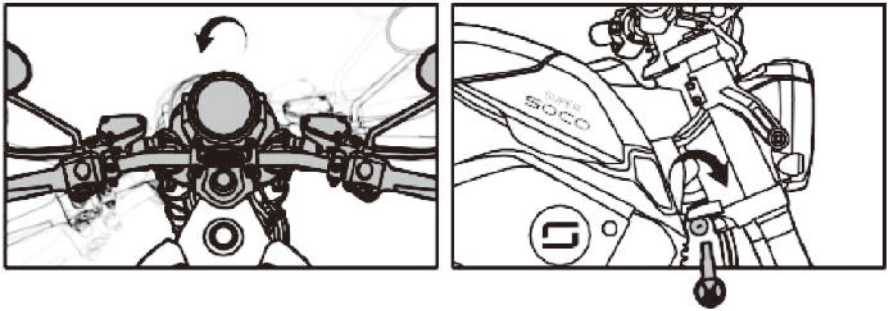
アンロックボタン
セキュリティ作動時に押すと、セキュリティを解除します。

スタートボタン
リモートコントローラーのアンロックボタンでオートバイのロックを解除した後、スタートボタンを押すと、オートバイは起動状態になります。もう一度押すと、電源が切れます。
電源を切るとセキュリティが入り、オートバイはロック状態となります。

操作ガイド

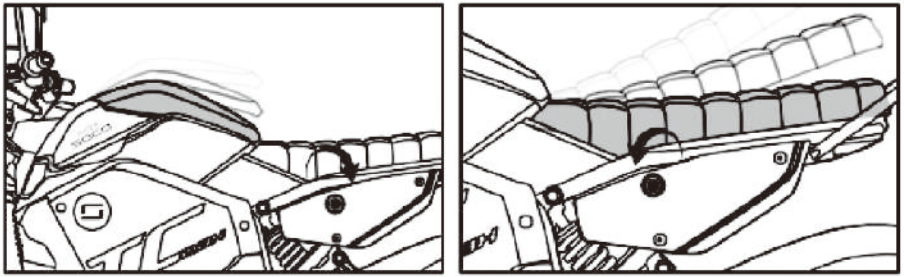
ハンドルロック

❶ ハンドルを左に切り、キーを挿しながら右に回すとハンドルがロックされます。
❷ キーを挿しながら左に回すとハンドルロックが外れます。



ストレージカバー開閉 &シート脱着

❶ キーを挿入後、右に回すとストレージカバーが開きます。
❷ キーを挿入後、左に回すとシートが外せます。

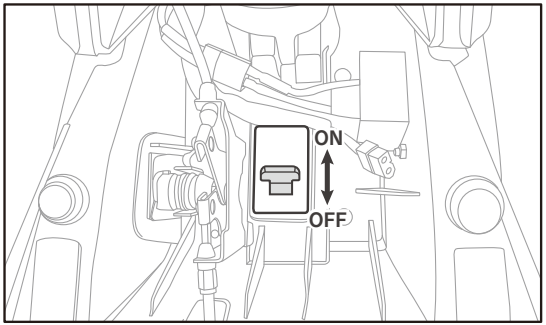


操作ガイド

サーキットブレーカー

回路及び各部品保護の為、ショートや過大電流の際に自動で断絶します。
作動後は手動でON位置に戻すことで復帰可能です。
保管等で長期間運転されない場合に、OFF位置にする事でバッテリーの容量低下を防げます。

注意：
バッテリーケーブルを抜く前および挿入する前にサーキットブレーカーをOFFにしてください。



※シート下にブレーカースイッチがあります。

手順：
① キーを挿入後、左に回してシートを外します。
② ブレーカースイッチが、シート下の車両中央にあります。

走行に関する項目

乗車前点検項目

乗車前に下記項目の点検を実施してください。

❶ ハンドルがしっかり固定され、左右に転舵してもスムーズに動くこと。

❷ 左右のハンドルスイッチがきちんと作動すること。

❸ アクセルがスムーズに回り、きちんと作動すること。

❹ タイヤの空気圧を確認すること。

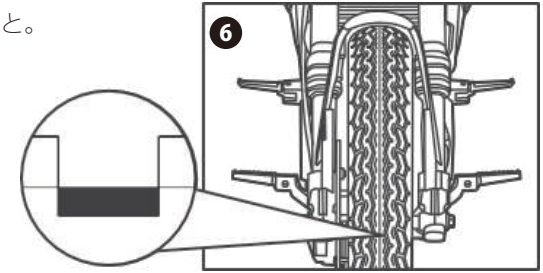
【規定空気圧】

スポークモデル：1名乗車…(前)200kPa / (後)225kPa、2名乗車…(前)200kPa / (後)250kPa

アロイモデル　：1名乗車…(前)175kPa / (後)200kPa、2名乗車…(前)175kPa / (後)225kPa

❺ タイヤ表面をチェックし、ひび割れ、損傷、異物の噛み込みがないこと。

❻ タイヤの溝深さが十分残っていること。ウェアーインジケーターが出ていないこと。



❼ベルトの摩耗、亀裂、ベルトホイールの歯の異常。

❽ベルトホイールの歯に石、その他異物の有無。

❾電源ONの状態でスピードメーター内に警告灯の点灯有無。

❿バッテリー容量。

⓫灯火器が正しく機能するか。

⓬ホーンが正しく機能するか。

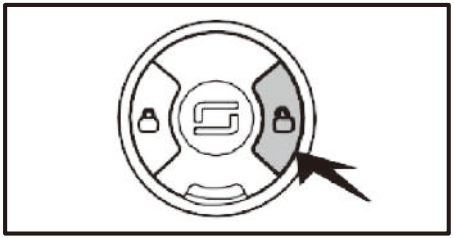
⓭ミラーの清掃、視界の調整。

⓮ブレーキオイル量及びブレーキシステムの正常な作動。

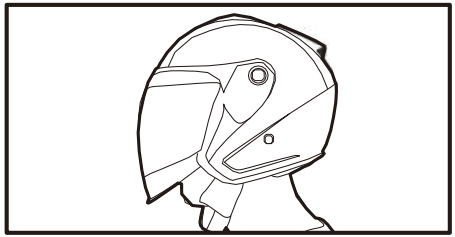
点検実施後に異常がある場合、MSソリューションズか販売店にお問い合わせください。

走行に関する項目

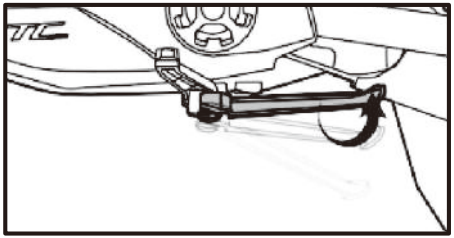
走行手順



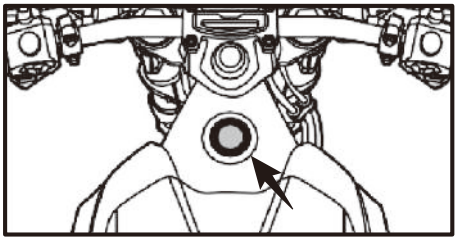
❶リモコンの “セキュリティー OFF” を押すと、車両の“POWER”ボタンが点灯します。



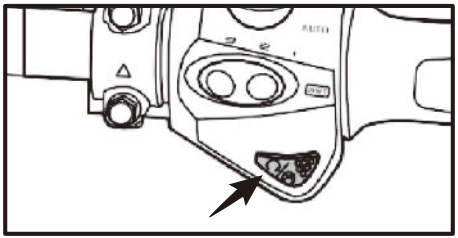
❷ヘルメットを被ります。



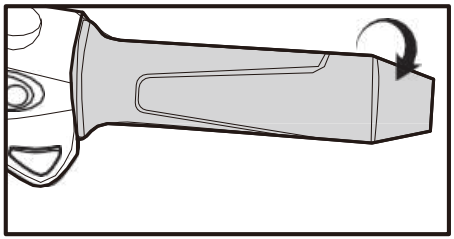
❸車両を起し、サイドスタンドを払って跨ります。



❹“POWER”ボタンを押します。



❺メーター内の表示が “P” マークのままの場合、“パーキング”ボタンを押して解除します。



❻アクセルをゆっくり回すと走行を開始します。

走行に関する項目

警告：

- 車両を移動する前に、サイドスタンドが収納され、ハンドルロックが解除されていることを確認してください。
- 走行中に絶対に「パーキングスイッチ」を押さないでください。走行不能になる事に加え、モーターに負荷が掛かり、非常に危険です。
- サイドスタンドを出した状態でステップ上で立ち上がらないでください。スタンドの破損や転倒等の危険があります。
- 本製品は、正常状態で走行してください。走行中に異常が発生した場合は、速やかに道路脇に停止してください。走行中に電源を OFF にしたり再起動しないでください。非常に危険です。

注意

- スタートする際は、急加速による過度の電流消費を回避するために、ゆっくり加速してください。
- 安全な運転の為には一定の速度を保ち、頻繁な急発進、急ブレーキ、急加速などを行わない事が重要です。
- 本製品の最大耐荷重は 150kg です。過負荷は車両と走行に悪影響を与えます。
- 意図しない車両の発進事故を防ぐために、車両を押しながら移動する際は電源を入れずに移動してください。
- 駐車中は電源を切り、ハンドルロックで施錠してください。

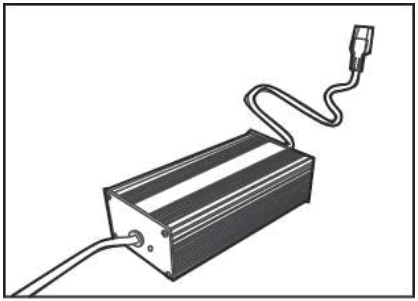
バッテリーに関する注意事項

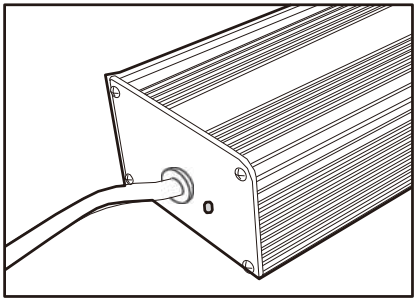
バッテリーを車載したまま充電をする場合

❶ 充電器を車両側充電口に差し込みます。

❷ 充電器とコンセントを繋ぎます。

※充電中はインジケーターが赤色に点灯します。充電が完了した場合、緑色が点灯します。





バッテリー充電インジケーター

・充電中　　：赤色が点灯します。
・充電完了　：緑色が点灯します。
・スタンバイ：赤色、緑色が交互に点滅します。

バッテリーに関する注意事項

バッテリーを取り外して充電する場合

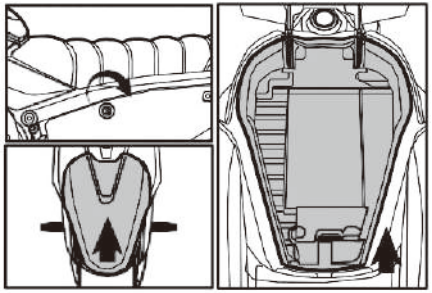
❶ サーキットブレーカーを OFF にします。

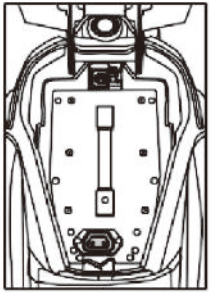
❷ キーを右に回してストレージカバーを開け、インナーカバーを取り出します。

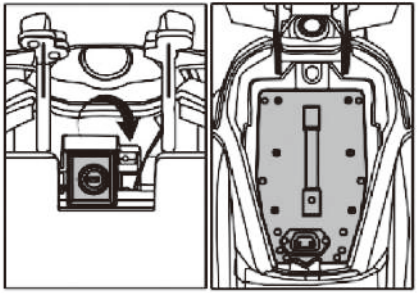
❸ 走行用ケーブルを外します。

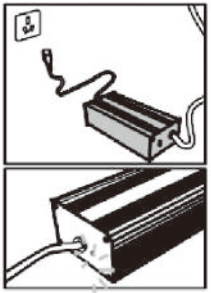
❹ バッテリーロックにキーを挿し込み、右に回しながらバッテリーを上に持ち上げて車体から取り出します。

❺ 充電器をバッテリーと繋いだ後、コンセントに繋ぎます。充電中は赤色が点灯し、完了すると緑色が点灯します。









警告：

❶ バッテリーを濡らしたり、濡れた場所に置いたりしないでください。その様な場所では充電しないでください。感電する危険があります。

❷ 使用可能な環境…充電時の外気温度：0～55℃、放電時の外気温度：-20～65℃の範囲でお使いください。

❸ 車両を長期間使用しない場合、バッテリーを車両から取り出し、室内で保管すると劣化が抑制できます。

❹ バッテリーのケーブル接続部で短絡させないようにご注意ください。非常に危険です。

❺ 子供がバッテリーに触れないようにしてください。また、バッテリーを火中に入れることは禁止します。

❻ 強い衝撃や強い力をバッテリーに与えることがないようにしてください。

❼ 専用充電器を使用してください。他の充電器を使用してバッテリーを充電することは禁止します。

❽ バッテリーは出荷前に品質チェックに合格しており、バッテリーを分解することは禁止します。

バッテリーに関する注意事項

保管、メンテナンス、輸送

❶ 長期間車両を使用しない場合、バッテリーを 50%まで充電してください。(バッテリーが空の場合、5 時間充電すれば十分です。)
バッテリーを長期保管するときは、バッテリーを車両から外してください。
乾燥した換気の良い場所に保管し、少なくとも 2 か月ごとに 4 時間充電してください。

❷ バッテリーと充電器は、清潔で乾燥した換気の良い場所に保管する必要があります。
腐食性物質との接触を避けてください。

❸ バッテリー保管や輸送時は、強い力が掛からない、火の近くや高温でない場所で行ってください。
バッテリー保管条件…温度：-20 ～ 35℃、湿度≦65%RH。

メンテナンス

定期的なメンテナンスにより、車両の耐用年数と運転時の安全性を向上させることができます。以下の内容を参考にして、車両を適切に管理してください。

点検とメンテナンス

購入後、1,000km または 1 か月（いずれか早い方）に達したら、MS ソリューションズか販売店で最初の点検とメンテナンスを行う必要があります。

購入後、3,000km または 6 か月（いずれか早い方）毎に、MS ソリューションズか販売店で定期的な点検とメンテナンスを行うことをお勧めします。

警告：

すべてのサービスとメンテナンスは MS ソリューションズか販売店で行う必要があります。SUPER SOCO 純正部品を使用してください。

清掃と保管

清掃：きれいな水と中性洗剤を使用して清掃し、柔らかい布とスポンジを使用して表面を清掃してください。

部品の表面を傷つけないように、金属ブラシ、サンドペーパーなどを使用して清掃することは禁止します。清掃後は柔らかい布で水分を拭き取ってください。

保管：部品の錆びを避け、日光や雨への露出を避け、乾燥した換気の良い場所に駐車してください。

警告：

清掃する前にサーキットブレーカーを OFF にしてください。

浸水による部品の故障を回避するため、高圧水を使用して直接洗浄しないでください。

長期間使用しない場合は、サーキットブレーカーを OFF にし、バッテリーを車両から取り外し、劣化を防止してください。

2 か月毎に 4 時間以上バッテリーを充電してください。

長期保管後は、十分に充電してからご使用ください。

FAQ & トラブルシューティング

FAQ & トラブルシューティング

エラー事象	原因	対応
電源が入らない 「POWER」ボタンが不灯	1. バッテリーの接続不良 2. サーキットブレーカーが ON になっていない	1. バッテリーの接続確認 2. サーキットブレーカーを ON にする
電源 ON、アクセルを回しても モーターが回らない	1. バッテリーが低容量状態で車載 2. サイドスタンドが収納されていない 3. パーキングモードがON状態 4. ブレーキが掛かった状態 5. アクセル部の故障 6. コントローラー部結線の抜け 7. コントローラーの故障	1. バッテリーの充電 2. サイドスタンドを収納する 3. パーキングモードを解除する 4. ブレーキの解除 5. アクセル関連部品の交換 6. コントローラー部結線を差込み 7. コントローラーの交換
速度が遅すぎる、 または走行距離が短すぎる	1. バッテリーが低容量状態で車載 2. タイヤが異常に潰れている 3. バッテリーorモーターに過負荷状態 4. ブレーキの引き摺りが有る 5. バッテリーの劣化	1. バッテリーの充電 2. パンクの有無を確認後、タイヤに空気を入れます。乗車前にタイヤの空気圧を確認してください。 3. 適切な速度と操作が必要です。 4. ブレーキシステムを確認後、必要なら部品交換をしてください。 5. バッテリー交換
バッテリーが充電できない	1. 充電プラグの接触不良 2. 指定外の充電器を使用 3. バッテリーの劣化	1. 充電プラグの接続状態を確認する 2. 専用充電器を使用する 3. バッテリー交換

FAQ & トラブルシューティング

エラー事象	原因	対応
メーターにエラーコード 99 表示	コントローラの通信エラー	MSソリューションズか販売店に連絡してください
メーターにエラーコード 98 表示	コントローラが作動停止している。 (過電流、モーター不良、電圧不足、過熱の可能性があります)	乗車を中止し、しばらく待ってから再起動するか、 MSソリューションズか販売店に連絡してください。
メーターにエラーコード97表示	コントローラ内の電気的エラー	MSソリューションズか販売店に連絡してください
メーターにエラーコード96表示	コントローラ内のセンサーエラー	
メーターにエラーコード95表示	コントローラ内のセンサーエラー	アクセル部の結線を確認するか、MS ソリューションズか販売店に連絡してください
メーターにエラーコード94表示	バッテリーの通信エラー	バッテリーの接続部を確認するか、MS ソリューションズか販売店に連絡してください
メーターにエラーコード93表示	充電中の過電流によるエラー	充電を中止し、充電器の確認をしてください
メーターにエラーコード92表示	充電中の過電圧によるエラー	
メーターにエラーコード91表示	バッテリーの過熱によるエラー	走行を中止し、しばらくお待ちください

FAQ & トラブルシューティング

エラー事象	原因	対応
メーターにエラーコード 90 表示	過電流によるバッテリーの放電	表示が消えない場合、乗車を中止しMSソリューションズか販売店に連絡してください
メーターにエラーコード 89 表示	充電中の低温によるエラー	車両かバッテリーを温かい室内に移動してしばらくお待ちください
メーターにエラーコード 88 表示	バッテリーの低温による放電	車両かバッテリーを温かい室内に移動してしばらくお待ちください
メーターにエラーコード 87 表示	ネットワーク接続エラー	乗車を中止し、しばらく待ってから再起動するか、MSソリューションズか販売店に連絡してください
メーターにエラーコード 86 表示	ネットワーク接続エラー	※日本未対応

FAQ & トラブルシューティング

ベルト摩耗状況による判定

外観状態		対応
	凸山 (歯) 内部への亀裂(髪の毛状)	定期的に確認しながら運転してください
	凸山 (歯) 内部への割れ	ベルトを交換してください
	凸山 (歯) の欠損	ベルトを交換してください
	ベルト部の解れ	定期的に確認しながら運転してください
	凸山 (歯) 表面の微小な削れ	定期的に確認しながら運転してください
	凸山 (歯) 表面の解れ	定期的に確認しながら運転してください
	石によるダメージ	ベルトを交換してください

【重要】

・ベルトが雨に濡れている場合、24 時間以内に清掃した場合、または 4 時間以内に作業温度で稼働していた場合は、ベルトの張力を確認しないでください。

・ベルト張力テストの前に、車両が室温まで冷えるのを待ってください。

・ベルト損傷または傷んだ状態で 8000km 以上走行している場合は、ベルトと 2 つのチェーンホイールを同時に交換してください。

※ベルト交換は専門の作業員しか行えません。MS ソリューションズか販売店に連絡してください。

FAQ & トラブルシューティング

バッテリー トラブルからの回復手法

バッテリーの状態		原因	対応
はじめて使用する時	走行ができない	バッテリー充電レベルが低い	バッテリーの充電をしてください
使用中に	バッテリー充電状態が低い 車両電源が OFF	バッテリー切れ 車両保護が作動	バッテリーの充電をしてください
	メーターにエラーコード 88 表示	バッテリーの低温による放電	車両かバッテリーを温かい室内に移動してしばらくお待ちください
	メーターにエラーコード 90 表示	過電流によるバッテリーの放電	表示が消えない場合、乗車を中止し、MS ソリューションズか販売店に連絡してください
	メーターにエラーコード 91 表示	バッテリーの過熱	走行を中止し、しばらくお待ちください
	メーターにエラーコード 94 表示	バッテリーの通信エラー	バッテリーの接続部を確認するか MS ソリューションズか販売店に連絡してください
	夜間走行すると電力消費が多くなる	ディスプレー照明を使用する等で通常よりはバッテリー消費は多くなります	異常ではありません
	公式発表と走行距離に差がある	公式発表の走行距離は、特定の状況でテストされています。 道路状況、天候、気温、風、積載 重量などの影響を受けます。	ご不明な点は MS ソリューションズか販売店に連絡して ください

FAQ & トラブルシューティング

バッテリーの状態		原因	対応
保管時	「POWER」を押しても電源がONにならない	バッテリーの保管期間が長すぎ、バッテリー充電レベルが低い	充電してください。充電できない場合は、MS ソリューションズか販売店に連絡してください
充電中	メーターにエラーコード 89 表示	充電中の低温によるエラー	温かい室内に移動して 充電してください
	メーターにエラーコード 92 表示	充電中の過電圧によるエラー	充電を中止し、充電器の確認をしてください
	充電中に充電器が熱くなる	充電時、充電器は高温になります	金属ケースは放熱に使用する為、ケースは高温になります。 火傷等に注意し、充電器は乾燥した換気の良い場所に置いて 充電してください
バッテリーが浸水	バッテリーが正常に作動せず、発進できない	豪雨や水につかった場合、バッテリーが浸水する可能性があります	使用を中止し、MS ソリューションズか販売店に連絡してください
バッテリー破損	落下や衝撃によりバッテリーケースが破損	バッテリーケースの破損	使用を中止し、MS ソリューションズか販売店に連絡してください

基本仕様

製品名: TC Max (ティーシー マックス)	バッテリー定格出力 : 3240Wh(72V45Ah)
クラス: 軽二輪 (AT普通二輪免許で運転可能)	定格出力(最大出力) : 3900W(4500W)
バッテリー : リチウムイオン	航続距離 : ≧110km*2
モーター : SUPER SOCO製	最高速度 : ≧95km/h
車体寸法 : 1982×740×1031(mm)	乗車定員 : 2名
車体重量 : 約103.5kg*1	製造国 : 中国
バッテリー重量 : 約23kg	充電時間 : 8-9h

＊1 : バッテリーを含む総重量となります。
＊2 : 体重75kgのライダーが45km/h で定地走行した場合の数値となります。
＊各車両の航続距離は、お客様のご使用環境(気象条件・体重・勾配・運転方法・車両状態・装備など)によって、大きく変化致します。航続距離のカタログ値は参考数値としてお考え下さい。

お問い合わせ

バイクについてのお問い合せ・ご相談は取扱店にお気軽にご連絡ください。

取扱店

TEL

製品についてお問い合せ

XEAM
カスタマーセールス

TEL 092-292-5374　MAIL info_xeam@mssjapan.jp

受付時間 9:00-12:00 / 13:00-18:00（月～金）

〒810-0801 福岡県福岡市博多区中洲 5 丁目 6-24 第 6 ガーデンビル 6F
販売元：株式会社 MS ソリューションズ

XEAM 公式ホームページ：https://www.xeam.jp/　|　MS ソリューションズ公式ホームページ：https://www.mssjapan.jp/

保　証　書

製品保証について

保証書に記載の対象車両の保証部位に、材料上もしくは製造上の不具合等による故障が発生した場合、無償で修復させていただきます。なお、弊社の指示、承諾を得ずに改造等を行った車両については全て保証対象外とさせていただきます。
※一般的な使用用途外(レース場での使用等)についても保証対象外とさせていただきます。

保証対象部品…フレーム・フロントフォーク・スイングアーム・ホイール・リヤサスペンション・ブレーキ・ステアリング・電動機・コントローラー・走行用バッテリー・その他メーカーが定めた主要部品。

保証適用外の範囲…外装部品・シート・消耗部品（ブレーキパッド・ブレーキシュー・タイヤ・ゴム類・油脂類等・ブレーキディスク・電球類・ヒューズ等）・その他メーカーが定めた部品

車両の譲渡について詳しくは、WEB ページをご覧ください。https://www.xeam.jp/

1カ月点検について

新車登録または届け出をされてから 1 カ月を目安に行う点検です。この時期の点検は車両寿命に影響を与えることが多いことから、新車登録または届け出をされてから約 1 カ月（または 1000 ㎞時）の点検を弊社提携店舗にて実施いたします。直営店 (WEB 販売含む) にてご購入いただいた場合は無料にてお受けいたします。有効期間を過ぎますと、有料となります。（有効期間：新規登録もしくは届け出をしてから約 1 カ月もしくは有効期間内に走行距離が 1000 ㎞を超える場合は、1000 ㎞走行時となります。）

● 1 カ月の点検内容

- 電動機の低速及び加速の状態の点検
- リム及びホイールディスクの損傷の点検
- ブレーキの利き具合の点検
- ブレーキロッド及びケーブル類の緩み、がた、損傷等の点検
- タイヤの空気圧亀裂、損傷、異状摩耗、溝の深さ
- ブレーキホース及びパイプの液漏れ、損傷、取り付け状況の点検

定期点検について

2007 年 4 月 1 日より『道路運送車両法』の改正等により、2007 年 4 月 1 日以降の新車登録車より、以下の内容での定期点検内容に変更となりました。
- 6 カ月点検の廃止
- 走行距離加味点検とシビアコンディション点検の設定

点検の種類について

● 日常点検

法律に準じてユーザー様自身で日々の車両の状況、状態に応じてユーザー様自らが適宜行う点検です。走行前、充電前、洗車前等に行ってください。
- ブレーキ（前後）レバー（ペダル）の遊び、きき具合
- ブレーキ液の量（前）
- 灯火装置および方向指示器
- 低速・加速の状態
- タイヤの空気圧亀裂、損傷、異状摩耗、溝の深さ
- 運行において異状が認められた箇所

● シビアコンディション点検

通常使用より過酷な状況で車両を使用した場合、部品の劣化や破損等が通常より早く進行してしまうケースがございます。それを早期に発見するために整備士が 6 カ月ごとに行う点検のことをさします。シビアコンディションの目安、状況については以下の通りです。
- 坂道や山道の走行が全走行の30%以上を占めている。またそれに伴うブレーキの使用が多い。
- 走行距離が半年で 3000 ㎞以上である。
- 未舗装路や凸凹道の走行が全走行の 30%以上を占めている。

※整備点検等でご不明な点は販売店、取次店にご相談ください。

保証有効期間について

☑ **店舗でご購入**　：登録日から 2 年 or 10,000km 走行時
☑ **弊社 HP でご購入**　：出荷日から 2 年 or 10,000km 走行時
※年数、km は早く到達した方を適用

ご購入日　　年　　月　　日

氏名　　様　TEL　　-　　-

〒

住所

登録番号

車名　　車台番号

メンテナンス スケジュール

コンポーネント	作業内容	1,000km または 1ヶ月 (いずれか早い方)	3,000km または 6ヶ月 (いずれか早い方)	6,000km または 1年 (いずれか早い方)	9,000km または1年半 (いずれか早い方)	12,000km または2年 (いずれか早い方)
全般	I	✓	✓	✓	✓	✓
ステアリング、操作系	I / E	✓		✓		✓
ステアリングベアリング	I / C / L	✓		✓		✓
電気系統	I	✓	✓	✓	✓	✓
ライト、スイッチ	I / E	✓	✓	✓	✓	✓
サーキットブレーカー	I	✓	✓	✓	✓	✓
ホイールベアリング	I / E			✓		✓
ホイール、リム	I	✓	✓	✓	✓	✓
タイヤ	I*			✓		✓
ブレーキ全般	I / C / E	✓		✓		✓
ブレーキオイル	E					✓
フロントフォーク	I	✓		✓		✓
リヤショックアブソーバー	I	✓		✓		✓
スロットル	I / L			✓		✓
メイン/サイドスタンド	I / C / E	✓		✓		✓
ベルト/ベルトホイール	I / C / E			✓		✓

I … Control (点検)　E … 交換　C … 清掃　L … 給油　*Check : 溝深さ / 空気圧

【 Controlについて 】

機能が正しいか確認してください。清掃や給油の指示があれば追加で行わなければなりません。エラーや欠陥が検出された場合は、修復する必要があります。
※運行前点検は上記の表に関わらず行う必要があります。

メンテナンス レコード

日付	年　　月　　日	走行距離	
ノート			
販売店			

1ヶ月点検整備記録簿（電動車）

二輪車	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

●参照事項
※1 各変速モードで作動させ、うなり音等の異音の有無を確認お願いいたします。
※2 ステム緩み止めナットの状態確認要。
※3 タイヤ溝深さを確認。
※4 タイヤ規定空気圧→1名乗車…（前）200kPa／（後）225kPa
2名乗車…（前）200kPa／（後）250kPa

電動機点検

■ 本体

- [ ] 電動機の作動状態・異音の有無※1
- [/] 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル

- [ ] 操作具合

■ フロントフォーク

- [ ] 損傷
- [ ] ステアリングステムの取付状態※2
- [/] ステアリングステムの軸受け部のがた

電気・保安装置点検

■ 走行用バッテリー

- [ ] 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ スイッチ類

- [ ] 灯火装置・方向指示器の作用
- [ ] ホーン・ハンドルロック装置の作用
- [ ] 計器の作用

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー

- [ ] 遊び
- [ ] ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類

- [ ] 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ

- [ ] 漏れ・損傷・取付状態

■ リザーバタンク（フロントブレーキ）

- [ ] ブレーキ液の量

足回り点検

■ ホイール

- [ ] タイヤの空気圧※3
- [ ] タイヤの亀裂・損傷の有無
- [ ] タイヤの溝の深さ・異常な磨耗※4
- [ ] ホイールのボルト・ナットの緩み

■ ショックアブソーバー

- [ ] 損傷・オイル漏れの有無

その他

- [ ] 外観樹脂パーツの損傷の有無

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品／記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿（電動車）

二輪車						
	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6 ヵ月点検整備……
●12 ヵ月点検整備……　＋
※納車時点検は 6 ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体

- 電動機の作動状態・異音の有無
- 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル

- 操作具合

■ フロントフォーク

- 損傷
- ステアリングステムの取付状態
- ステアリングステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール

- タイヤの空気圧
- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
- ホイールのボルト・ナットの緩み
- フロントホイールベアリングのがた
- リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム

- 連結部のがた・アームの損傷

■ ショックアブソーバー

- 損傷・オイル漏れの有無

その他

- フレームの緩み・損傷
- シャシ各部の給油脂状態

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー

- 遊び
- ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類

- 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ

- 漏れ・損傷・取付状態

■ リザーバタンク

- ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ

- 機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー

- ドラムとライニングのすき間
- シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー

- 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線

- 接続部の緩み損傷

■ スイッチ類

- 灯火装置・方向指示器の作用
- ホーン・ハンドルロック装置の作用
- 計器の作用

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿（電動車）

二輪車						
	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6 ヵ月点検整備……☐

●12 ヵ月点検整備……☐ ＋ ☐

※納車時点検は 6 ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体

☐ 電動機の作動状態・異音の有無　☐ 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル

☐ 操作具合

■ フロントフォーク

☐ 損傷　☐ ステアリングステムの取付状態

☐ ステアリングステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール

☐ タイヤの空気圧　☐ タイヤの亀裂・損傷の有無

☐ タイヤの溝の深さ・異常な磨耗

☐ ホイールのボルト・ナットの緩み

☐ フロントホイールベアリングのがた

☐ リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム　■ ショックアブソーバー

☐ 連結部のがた・アームの損傷　☐ 損傷・オイル漏れの有無

その他

☐ フレームの緩み・損傷　☐ シャシ各部の給油脂状態

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー

☐ 遊び　☐ ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類

☐ 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ　■ リザーバタンク

☐ 漏れ・損傷・取付状態　☐ ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ

☐ 機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー

☐ ドラムとライニングのすき間

☐ シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー

☐ 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線

☐ 接続部の緩み損傷

■ スイッチ類

☐ 灯火装置・方向指示器の作用

☐ ホーン・ハンドルロック装置の作用　☐ 計器の作用

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿（電動車）

二輪車						
	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6 ヵ月点検整備……☐

●12 ヵ月点検整備……☐ ＋ ☐

※納車時点検は 6 ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体

☐ 電動機の作動状態・異音の有無　☐ 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル

☐ 操作具合

■ フロントフォーク

☐ 損傷　☐ ステアリングステムの取付状態

☐ ステアリングステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール

☐ タイヤの空気圧　☐ タイヤの亀裂・損傷の有無

☐ タイヤの溝の深さ・異常な磨耗

☐ ホイールのボルト・ナットの緩み

☐ フロントホイールベアリングのがた

☐ リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム　■ ショックアブソーバー

☐ 連結部のがた・アームの損傷　☐ 損傷・オイル漏れの有無

その他

☐ フレームの緩み・損傷　☐ シャシ各部の給油脂状態

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー

☐ 遊び　☐ ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類

☐ 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ　■ リザーバタンク

☐ 漏れ・損傷・取付状態　☐ ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ

☐ 機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー

☐ ドラムとライニングのすき間

☐ シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー

☐ 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線

☐ 接続部の緩み損傷

■ スイッチ類

☐ 灯火装置・方向指示器の作用

☐ ホーン・ハンドルロック装置の作用　☐ 計器の作用

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿（電動車）

二輪車						
	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6 ヵ月点検整備……
●12 ヵ月点検整備……　＋
※納車時点検は 6 ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体

- 電動機の作動状態・異音の有無
- 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル

- 操作具合

■ フロントフォーク

- 損傷
- ステアリングステムの取付状態
- ステアリングステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール

- タイヤの空気圧
- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
- ホイールのボルト・ナットの緩み
- フロントホイールベアリングのがた
- リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム

- 連結部のがた・アームの損傷

■ ショックアブソーバー

- 損傷・オイル漏れの有無

その他

- フレームの緩み・損傷
- シャシ各部の給油脂状態

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー

- 遊び
- ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類

- 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ

- 漏れ・損傷・取付状態

■ リザーバタンク

- ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ

- 機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー

- ドラムとライニングのすき間
- シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー

- 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線

- 接続部の緩み損傷

■ スイッチ類

- 灯火装置・方向指示器の作用
- ホーン・ハンドルロック装置の作用
- 計器の作用

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿（電動車）

二輪車						
	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6 ヵ月点検整備……
●12 ヵ月点検整備……　＋
※納車時点検は 6 ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体

- 電動機の作動状態・異音の有無
- 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル

- 操作具合

■ フロントフォーク

- 損傷
- ステアリングステムの取付状態
- ステアリングステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール

- タイヤの空気圧
- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
- ホイールのボルト・ナットの緩み
- フロントホイールベアリングのがた
- リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム

- 連結部のがた・アームの損傷

■ ショックアブソーバー

- 損傷・オイル漏れの有無

その他

- フレームの緩み・損傷
- シャシ各部の給油脂状態

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー

- 遊び
- ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類

- 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ

- 漏れ・損傷・取付状態

■ リザーバタンク

- ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ

- 機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー

- ドラムとライニングのすき間
- シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー

- 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線

- 接続部の緩み損傷

■ スイッチ類

- 灯火装置・方向指示器の作用
- ホーン・ハンドルロック装置の作用
- 計器の作用

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿（電動車）

二輪車						
	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6 ヵ月点検整備……
●12 ヵ月点検整備……　＋
※納車時点検は 6 ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体

- 電動機の作動状態・異音の有無
- 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル

- 操作具合

■ フロントフォーク

- 損傷
- ステアリングステムの取付状態
- ステアリングステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール

- タイヤの空気圧
- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
- ホイールのボルト・ナットの緩み
- フロントホイールベアリングのがた
- リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム

- 連結部のがた・アームの損傷

■ ショックアブソーバー

- 損傷・オイル漏れの有無

その他

- フレームの緩み・損傷
- シャシ各部の給油脂状態

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー

- 遊び
- ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類

- 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ

- 漏れ・損傷・取付状態

■ リザーバタンク

- ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ

- 機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー

- ドラムとライニングのすき間
- シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー

- 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線

- 接続部の緩み損傷

■ スイッチ類

- 灯火装置・方向指示器の作用
- ホーン・ハンドルロック装置の作用
- 計器の作用

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿（電動車）

二輪車						
	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6 ヵ月点検整備……
●12 ヵ月点検整備……　＋
※納車時点検は 6 ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体

- 電動機の作動状態・異音の有無
- 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル

- 操作具合

■ フロントフォーク

- 損傷
- ステアリングステムの取付状態
- ステアリングステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール

- タイヤの空気圧
- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
- ホイールのボルト・ナットの緩み
- フロントホイールベアリングのがた
- リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム

- 連結部のがた・アームの損傷

■ ショックアブソーバー

- 損傷・オイル漏れの有無

その他

- フレームの緩み・損傷
- シャシ各部の給油脂状態

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー

- 遊び
- ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類

- 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ

- 漏れ・損傷・取付状態

■ リザーバタンク

- ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ

- 機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー

- ドラムとライニングのすき間
- シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー

- 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線

- 接続部の緩み損傷

■ スイッチ類

- 灯火装置・方向指示器の作用
- ホーン・ハンドルロック装置の作用
- 計器の作用

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿（電動車）

二輪車						
	該当なし	／	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6 ヵ月点検整備……
●12 ヵ月点検整備……　＋
※納車時点検は 6 ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体

- 電動機の作動状態・異音の有無
- 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル

- 操作具合

■ フロントフォーク

- 損傷
- ステアリングステムの取付状態
- ステアリングステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール

- タイヤの空気圧
- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
- ホイールのボルト・ナットの緩み
- フロントホイールベアリングのがた
- リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム

- 連結部のがた・アームの損傷

■ ショックアブソーバー

- 損傷・オイル漏れの有無

その他

- フレームの緩み・損傷
- シャシ各部の給油脂状態

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー

- 遊び
- ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類

- 緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ

- 漏れ・損傷・取付状態

■ リザーバタンク

- ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ

- 機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー

- ドラムとライニングのすき間
- シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー

- 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線

- 接続部の緩み損傷

■ スイッチ類

- 灯火装置・方向指示器の作用
- ホーン・ハンドルロック装置の作用
- 計器の作用

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年　月　日
整備完了日
年　月　日
タイヤの溝の深さ
F　mm　R　mm
ブレーキパッド残量
F　mm　R　mm

点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

XEAM

ELECTRIC MOBILITY